

プログラム

5月15日(月) 13:00-17:55

はじめに 岡本 佳比古

所長挨拶 廣井 善二

セッション1 座長：山浦 淳一

陰山 洋 (京都大学)

“応力を利用した新物質探索と制御”

有馬 孝尚 (東京大学)

“メリライト型化合物におけるリエントラント反強磁性転移”

荻野 拓 (産業技術総合研究所)

“多元系層状化合物の単結晶育成”

岡本 佳比古 (東京大学)

“新奇 *d* 電子系物質の開拓”

セッション2 座長：岡本 佳比古

大場 史康 (東京工業大学)

“第一原理計算による窒化物・酸化物半導体の設計と新材料開拓”

榮永 茉利 (大阪大学)

“高圧力がつくる水素化合物の高温超伝導”

小正路 峻太郎 (東京大学)

“最密球充填構造と四元系水素化物の網羅的探索”

山田 高広 (東北大学)

“ナトリウムを含む極性金属間化合物の合成と特性評価”

十倉 好紀 (理化学研究所/東京大学)

“Complex tellurides and interface engineering for topological quantum materials”

5月16日(火)

セッション3 座長：大熊 隆太郎

安田 憲司 (マサチューセッツ工科大学) “積層制御による二次元強誘電体の設計”

井手上 敏也 (東京大学)

“ファンデルワールスナノ物質における対称性制御と非線形伝導”

島崎 佑也 (理化学研究所)

“電気制御された半導体モアレ格子系における物性探索”

特別セッション「物性研究所 附属物質設計評価施設の将来展望」座長：岡本 佳比古

八木 健彦 (東京大学名誉教授)

“物性研と超高压科学の発展”

岡本 佳比古 (東京大学)

“物質設計評価施設の紹介と今後の役割について”

山浦 淳一 (東京大学)

“物質設計評価施設の紹介と構造物性研究”

コメント

セッション4 座長：井手上 敏也

山本 浩史 (分子科学研究所)

“構造キラリティに基づく新物性探索”

飯村 壮史 (物質・材料研究機構)

“半導体および電気化学機能の化学”

石川 孟 (東京大学)

“アニオン遷移金属を有するヨウ化物超伝導体の開拓”

石渡 晋太郎 (大阪大学)

“計算・情報科学を活用した準安定ペロブスカイト型酸化物の高圧合成”

おわりに

初日(左)と二日目(右)のワークショップ会場の様子

